

聴覚障害者の受発信情報 企業と連携 仲介検討

NPO法人
サマライズ

音声と文字を 変換

聴覚障害者向けのためのパソコン要約筆記などを手掛けている塩尻市のNPO法人(特定非営利活動法人)長野サマライズ・センター(不破泰理事長)は、企業と協力しての聴覚障害者向け情報仲介事業を検討している。多くの企業が顧客向けに設けているコールセンターを拠点に、音声情報と文字情報を変換してやりとりできる環境を整える構想だ。十八日に名古屋市で行われる「企業&NPO協働アイデアコンテスト」で同法人の考え方を発表する。

(小坂 功)

協働コンテストで提案へ

企業への問い合わせや苦情への対応、通信販売受け付けなどの窓口として設けられているコールセンターに、聴覚障害者からファクスや電子メールで預かった情報を音声に換えて届けたり、その逆の流れで仲介したりする機能を追加する。電話対応が中心のため、聴覚

障害者が苦勞することが多い行政機関への問い合わせや宅配便の再配達の設定、家族間の連絡などに使える。要約筆記などで培ったノウハウを生かして、一

などの理由で断念した。企業の力を借りれば、そうした課題をクリアできると考えた。企業側にも、社会貢献をしているというイメージアップのほかに、情報をお届けの際に使うファクス用紙などを広告媒体に使えるなどのメリットがある。情報仲介サービスも見越したコールセンターが地域にできれば、新たな雇用が生まれる効果も期待できる。

コンテストは経済産業省所管の財団法人「中部産業活性化センター(CIAC)」と、NPO法人「パートナーシップ・

サポートセンター」の主催で二回目になる。CIACの担当者は「現状では、ほとんどない企業とNPO法人の接点を探る機会だ」と説明する。

市長日程

小口塩尻市長、体育館建設研究委員会提言(後1時30分、市役所) 木曾漆器工業協同組合役員新年会(後5時30分、ならい荘) 塩尻北・塩尻ロータリークラブ合同新年祝賀例会(後7時30分、ホテル中村屋)

○法人の視点で提案したい」と話している。



発表に向けて準備を重ねるサマライズ・センターのメンバー